

国見町あつかし歴史館特別展・福島県文化財センター白河館(まほろん)移動展

かわはら いせき

戦後ふくしまの考古学 川原遺跡



当時の発掘調査風景



川原遺跡から出土した注口土器(ちゅうこうどき)

国見町に所在する「川原遺跡」は、東北自動車道の工事に発見されました。昭和48年(1973)に福島県教育委員会によって発掘調査が行われ、縄文時代後期中葉(約3,500~4,000年前)の土器3000点以上や当時の植物が大量に残され注目された遺跡です。

出土遺物は、福島県文化財センター白河館(まほろん)に貴重な文化財として大切に保管されていますが、今回その一部を国見町のあつかし歴史館で展示します。

会 期

10月24日(土)~12月13日(日)

開館時間 9:00~16:30

休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

会 場

あつかし歴史館 第2研修室

福島県伊達郡国見町大字大木戸字霞原3 ☎024-585-4520

多くの人が集まる現地説明会の様子

【講演・展示解説会】

- 日時 11月22日(日) 13:30~15:30
- 会場 大木戸ふれあいセンター(国見町大木戸字新田原3)
- 講師 佐藤俊氏(まほろん主任学芸員)
- 定員・申込 40名、申込・参加費不要

【問合せ先】

国見町歴史まちづくりフォーラム
事務局(企画調整課内)
☎024-585-2967

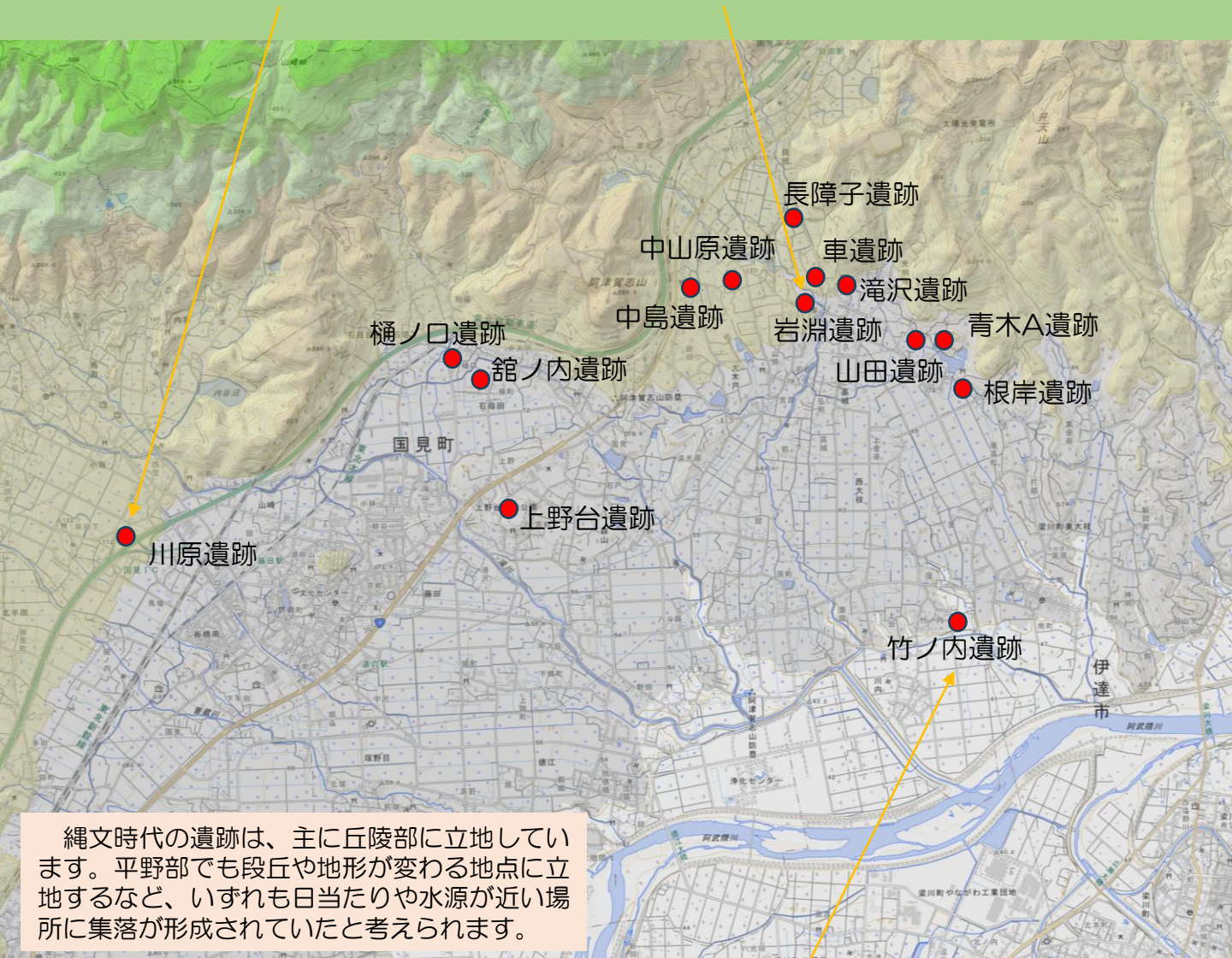
国見町の縄文遺跡



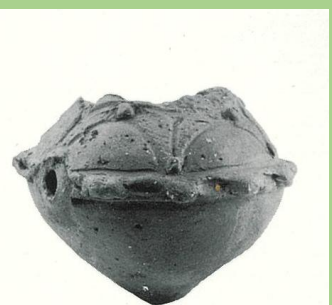
川原遺跡(小坂) 縄文時代後期



岩淵遺跡(高城) 縄文時代中期



縄文時代の遺跡は、主に丘陵部に立地しています。平野部でも段丘や地形が変わる地点に立地するなど、いずれも日当たりや水源が近い場所に集落が形成されていたと考えられます。



竹ノ内遺跡(西大枝) 縄文時代後晩期